

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 アズジェント

コード番号 4288 URL <http://www.asgent.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 隆洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長 (氏名) 平井 清隆

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

TEL 03-5643-2581

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	839	△3.2	89	34.6	89	38.4	114	13.2
21年3月期第1四半期	867	—	66	—	64	—	100	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2,888.40	2,878.22
21年3月期第1四半期	2,551.26	2,542.12

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,870	1,262	67.5	31,974.81
21年3月期	2,193	1,148	52.4	29,091.99

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,262百万円 21年3月期 1,148百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	1,634	△7.0	120	7.8	120	3.4	138	△1.7	3,495.00
通期	3,800	8.9	270	11.3	270	4.8	270	△10.8	6,838.04

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 39,485株 21年3月期 39,485株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 ー株 21年3月期 ー株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第1四半期 39,485株 21年3月期第1四半期 39,485株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、2ページ【定性的情報・財務情報等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融不安情勢を要因とし、景気後退の影響で企業業績の悪化、設備投資の縮小等もあり、本格的な景気回復には至っておらず、依然として厳しい経済環境が続いております。

ネットワークセキュリティ市場の動向としては、経済環境の悪化に伴う企業業績の低迷により、セキュリティ関連に対する設備投資予算削減傾向が表れてきております。

このような状況下、利益面につきましては、営業利益は89百万円（前年同期比34.6%増）、経常利益は89百万円（前年同期比38.4%増）、四半期純利益は114百万円（前年同期比13.2%増）となりましたが、当第1四半期会計期間においては、売上高は839百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は1,870百万円と前事業年度末に比べ、323百万円減少いたしました。

流動資産は前事業年度末に比べ402百万円減少し1,391百万円となりました。これは現金及び預金が202百万円、売掛金が231百万円減少したこと等によるものです。

また、負債は608百万円と前事業年度末に比べ、437百万円減少いたしました。これは、買掛金が112百万円、短期借入金が300百万円減少したこと等によるものです。

純資産は1,262百万円と前事業年度末に比べ、113百万円増加いたしました。これは四半期純利益114百万円を計上したこと等によるものです。

以上により、流動比率は315.8%、自己資本比率67.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は581百万円となり、前事業年度末に比べ、202百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、170百万円となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益97百万円、売上債権の減少231百万円があった一方で、仕入債務が112百万円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、42百万円となりました。その主な要因は、差入保証金の差入21百万円、会員権の取得による支出14百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、330百万円となりました。これは短期借入金の返済300百万円、社債の償還30百万円によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日付「平成21年3月期決算短信（非連結）」にて公表した第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法は、定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	581,873	784,196
売掛金	608,772	840,401
商品及び製品	36,850	31,965
仕掛品	970	—
原材料及び貯蔵品	628	700
前渡金	87,337	33,887
前払費用	19,171	13,371
繰延税金資産	36,608	84,350
未収還付法人税等	183	183
その他	19,546	5,997
貸倒引当金	△50	△1,050
流動資産合計	1,391,890	1,794,004
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,506	19,699
工具、器具及び備品（純額）	164,637	171,346
土地	819	819
有形固定資産合計	179,963	191,865
無形固定資産	67,549	74,797
投資その他の資産	231,154	133,092
固定資産合計	478,667	399,756
資産合計	1,870,558	2,193,760
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	80,585	192,974
短期借入金	50,000	350,000
1年内償還予定の社債	93,000	93,000
未払金	65,778	83,233
未払費用	41,410	31,996
未払法人税等	2,457	5,915
未払消費税等	—	29,273
前受金	294	90
預り金	4,586	3,840
前受収益	9,217	9,813
賞与引当金	66,666	45,904
その他	26,712	66
流動負債合計	440,708	846,108

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
社債	117,000	147,000
退職給付引当金	50,324	51,955
固定負債合計	167,324	198,955
負債合計	608,032	1,045,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	769,500	769,500
資本剰余金	705,200	705,200
利益剰余金	△209,632	△323,681
株主資本合計	1,265,067	1,151,018
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,541	△2,321
評価・換算差額等合計	△2,541	△2,321
純資産合計	1,262,525	1,148,697
負債純資産合計	1,870,558	2,193,760

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	867,508	839,380
売上原価	538,539	458,365
売上総利益	328,969	381,014
販売費及び一般管理費	262,517	291,595
営業利益	66,451	89,419
営業外収益		
受取配当金	88	—
為替差益	1,030	1,880
その他	128	40
営業外収益合計	1,247	1,921
営業外費用		
支払利息	2,103	974
支払保証料	—	600
その他	712	—
営業外費用合計	2,815	1,575
経常利益	64,883	89,766
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,050
固定資産売却益	—	7,452
特別利益合計	—	8,503
特別損失		
前期損益修正損	—	591
特別損失合計	—	591
税引前四半期純利益	64,883	97,677
法人税、住民税及び事業税	572	572
法人税等調整額	△36,425	△16,943
法人税等合計	△35,853	△16,370
四半期純利益	100,736	114,048

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	64,883	97,677
減価償却費	24,050	25,790
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△525	△1,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,223	20,761
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△241	△1,631
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,704	—
受取配当金	△88	—
支払利息	2,103	974
為替差損益 (△は益)	△371	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△7,452
売上債権の増減額 (△は増加)	334,984	231,629
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,583	△5,782
仕入債務の増減額 (△は減少)	△270,361	△112,389
その他	△14,222	△71,754
小計	155,146	176,822
利息及び配当金の受取額	88	—
利息の支払額	△1,393	△798
法人税等の支払額	△2,296	△5,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,545	170,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,897	△8,474
有形固定資産の売却による収入	2,507	14,335
無形固定資産の取得による支出	△1,180	△14,669
差入保証金の差入による支出	—	△21,100
会員権の取得による支出	—	△14,700
その他	—	2,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,570	△42,432
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△131,800	△300,000
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161,800	△330,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	371	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,454	△202,323
現金及び現金同等物の期首残高	536,620	784,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	522,165	581,873

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。